

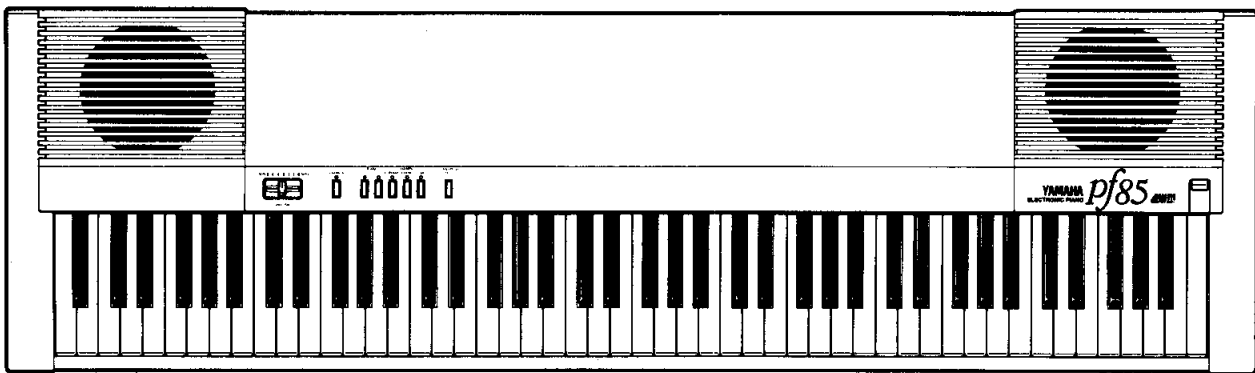
# YAMAHA

## ELECTRONIC PIANO

# pf85

エレクトロニックピアノ

取扱説明書



このたびは、ヤマハ エレクトロニックピアノ Pf85をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

Pf85は、リアルなピアノ系の音が楽しめるAWM音源方式のキーボードです。

Pf85の優れた性能をフルに発揮させると共に、未長くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、よろしく願いいたします。

## Pf85の特長

### ★AWM音源を採用

ヤマハのデジタル技術を結集し開発したAWM(Advanced Wave Memory)方式の音源を採用しています。AWM音源ならではのリアルなサウンドをお楽しみください。ピアノ系を含め5種類の音色がプリセットされています。

### ★最大同時発音数16音

最高で16音同時発音が可能です。後着優先ですので、17音以上続いた時は、先の音を消して後の音を鳴らす仕組みです。ただし、サスティン用のペダルをONにしている時の最低音は、必ず残すようになっています。

### ★幅広い発音音域

88鍵(A<sub>1</sub>~C<sub>7</sub>)の鍵盤を持っており、幅広い範囲で発音できます。そのうえ、ピアノアクションのフィーリングを実現したAE鍵盤と、鍵盤を叩く強さによって音量や音色変化を表現できるイニシャルタッチ機能を採用しています。

### ★ステレオコーラス内蔵

ステレオコーラス機能を内蔵しており、左右のスピーカーの間を音がうねりながら漂う美しい効果を付加できます。

### ★トランスポーズが可能

トランスポーズ機能を内蔵しており、弾きかたを変えずに簡単に移調することができます。

### ★ピッチ変更が可能

発音のピッチを変更することができますから、他の機器に合わせたチューニングが可能です。

### ★20Wアンプと16cmスピーカーをステレオで搭載

20Wの出力を持つメインアンプと16cmフルレンジスピーカーをそれぞれ2つ内蔵しています。

### ★豊富なオーディオ端子

2系統のライン出力端子(OUTPUT I, II)を持っています。なお、コーラス効果をONにした時は、これらの端子からステレオで出力されます。また、ヘッドホンを接続したり、外部機器を接続し、ミックスして鳴らすこともできます。

### ★フットスイッチ端子を装備

フットスイッチを接続すると、ソフト効果やサスティン効果、キーホールド効果を足元でON/OFFすることが可能になります。

### ★MIDIコントロール

MIDI対応のキーボードです。外部MIDI機器を接続して両方の音を同時にならしたり、音色切替を連動させるなど、様々なコントロールが可能です。

### ★付属品を用意

フットスイッチFC4と譜面立てが付属です。

## 目次

仕様	2	フットコントロール	12
ご使用上の注意	3	MIDIコントロール	13
各部の名称と働き	4	MIDIデータフォーマット	18
接続	8	初期値について	22
音を出してみよう(基本操作)	9	ブランクチャート	22
トランスポーズ	10	オプション(別売)	23
ピッチ変更	11	サービスについて	24

## 仕様

鍵盤	88鍵(A-1~C7) イニシャルタッチ付き
音域	A-1~C7
同時発音数	16音(後層優先)
音源	AWM(Advanced Wave Memory)音源
音色	ピアノ1, ピアノ2, エレクトリックピアノ、 ハープシコード, ビブラフォン
エフェクト	ステレオコーラス
設定	
全音色共通	電源ON/OFF, ボリューム, 音色選択*, ピッチ*, トランスポーズ*, スピーカーON/OFF, ソフト/キーホールド切替*, コーラスON/OFF
フットコントロール	サステインON/OFF*, ソフトON/OFF*, キーホールドON/OFF*
MIDI設定	MIDI送信チャンネル*, MIDI受信チャンネル*, オムニON/OFF*, ローカル コントロールON/OFF*, プログラムチェンジ キャンセル ON/OFF*, コントロールチェンジ キャンセル ON/OFF*,

(\*印は、POWERスイッチONのたびに初期化)

メインアンプ	20W×2
スピーカー	16cm(8Ω)×2
出力端子	
OUTPUT I, II	モノラルホーンジャック, 規定出力レベル; -10dB, 最大出力レベル; +10dB, インピーダンス; 600Ω
PHONES	ステレオホーンジャック,

入力端子	
LINE INPUT	モノラルホーンジャック, 規定入力レベル; -10dB
MIDI端子	MIDI IN, MIDI OUT, MIDI THRU
電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	55W
寸法(W×H×D)	1330mm×143mm×390mm
重量	31kg
付属品	フットスイッチFC4(サステイン, ソフト, キーホールドON/OFF用), 譜面立て
別売品	フットスイッチFC5(サステイン, ソフト, キーホールドON/OFF用) パイプスタンドLG-Pf60, ウッドスタンドLG-Pf80

●0dB=0.775Vr.m.s.

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# ご使用上の注意

## ◆設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
- 温度の特に低い場所。
- 湿気やホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。

## ◆無理な力を加えない

キー、つまみ、スイッチ、端子類に無理な力を加えることは避けてください。

## ◆電源について

- 本機は日本国内仕様です。必ず、AC100V(50Hzまたは60Hz)の電源コンセントに接続してください。AC100V以外の電源では絶対にご使用にならないでください。
- 大型ライトや大出力パワーアンプなど、消費電力の大きな機器と同じコンセントに接続しないでください。また、タコ足配線もお避けください。
- POWERスイッチは、送信機器側から順にONにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから外してください。

## ◆接続コードの取り外し

接続コードを外す時は、コードの断線やショートを防ぐため、コードを引っ張らないで必ずプラグ部分をもって引き抜いてください。

## ◆セットの移動

セットの移動は、接続コードのショートや断線を防ぐため、コードを取り外してから行ってください。

## ◆接続について

接続は、各機器の電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

## ◆MIDIケーブルについて

- ケーブルはMIDI規格のものをご使用ください。
- ケーブルの長さは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、波形の劣化等によりトラブルの原因となりますので、ご注意ください。

## ◆ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造したりしないようにしてください。

## ◆外装のお手入れについて

外装をベンジンやシンナーなどの揮発油で拭いたり、近くでエアゾールタイプのスプレーを散布しないでください。外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。なお、汚れのひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。

## ◆落雷に対する注意

落雷の恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

## ◆他の電気機器への影響について

本機はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどを同時にご使用になりますと、ラジオやテレビ側で雑音などが生じることがあります。十分に離してご使用ください。

## ◆保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。

## ◆保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

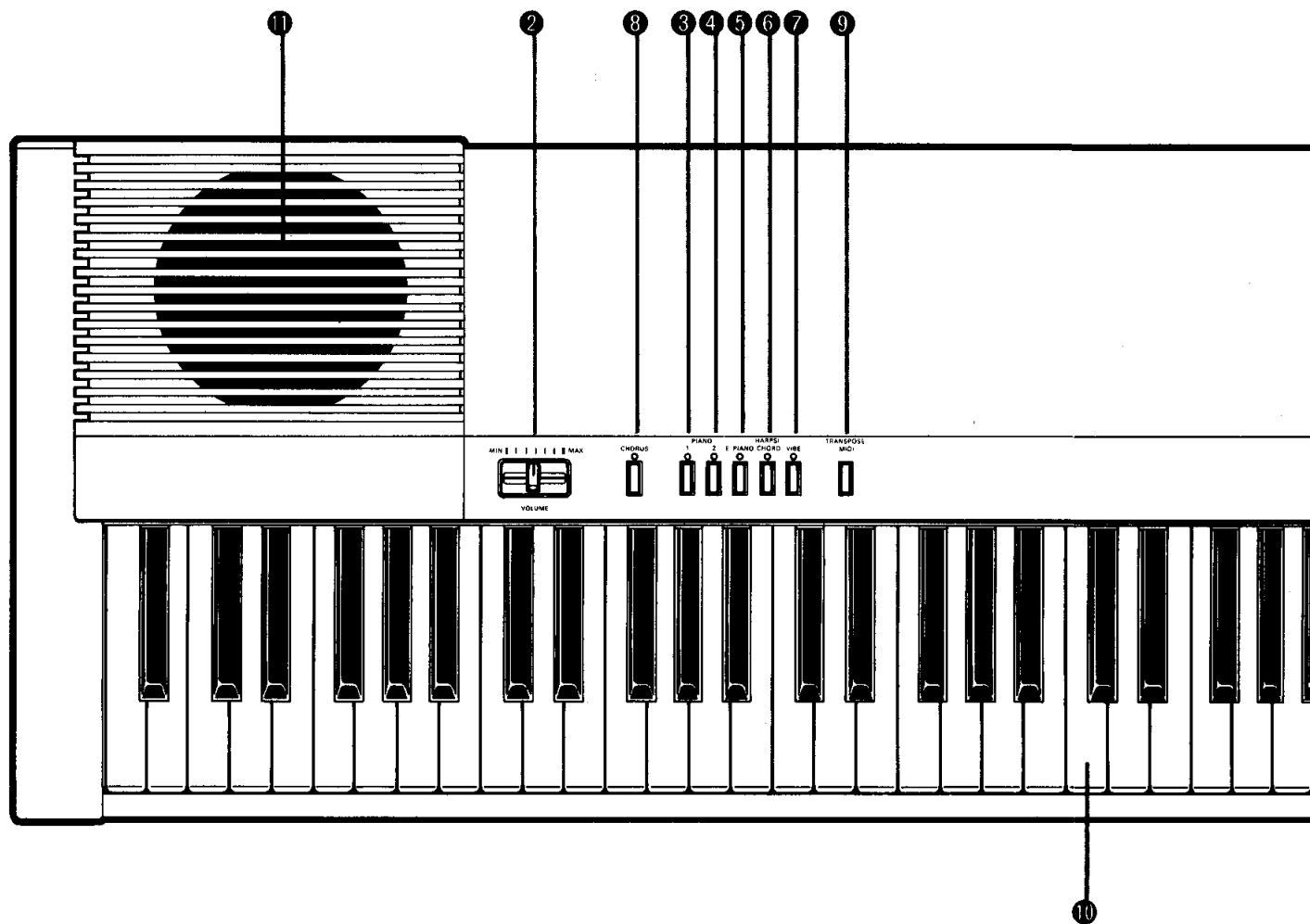
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

**音楽を楽しむエチケット**

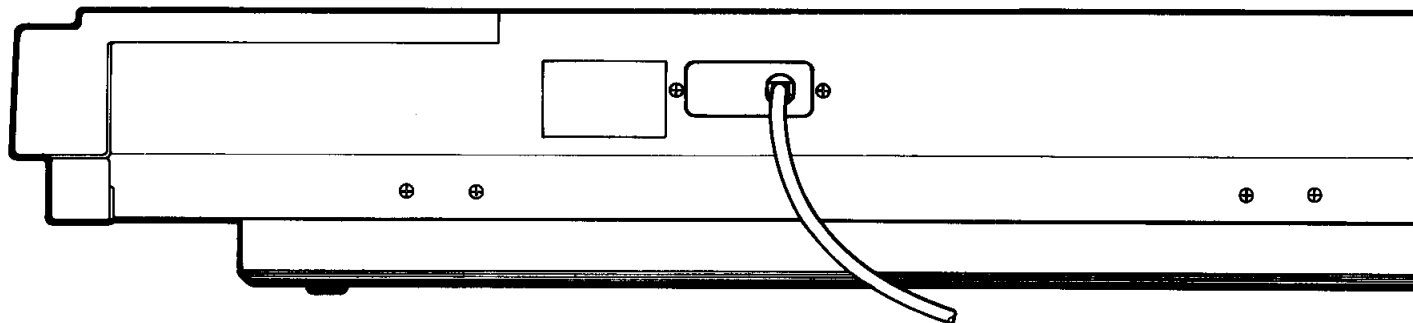
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

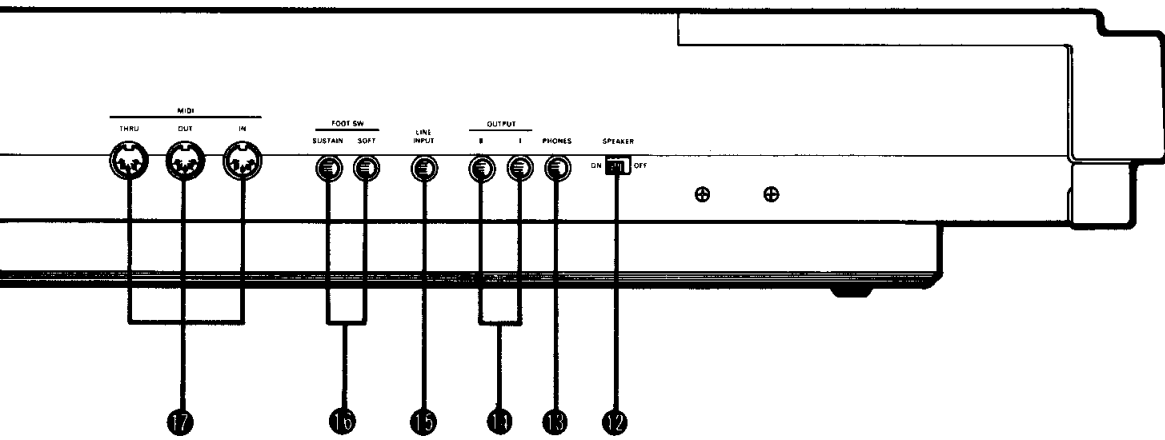
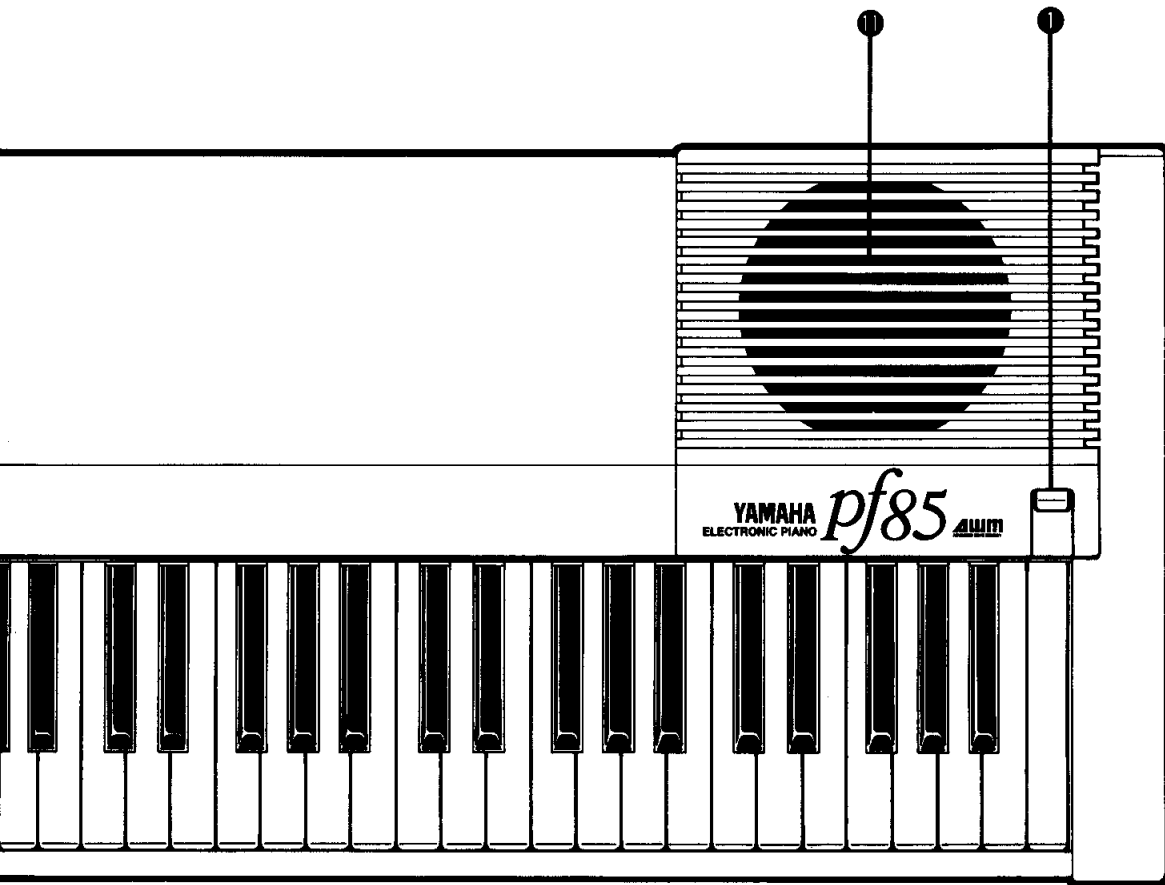
# 各部の名称と働き

## ●コントロールパネル



## ●リアパネル





## ①POWERスイッチ

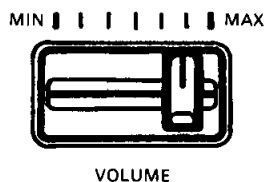
電源スイッチです。ONにすると、まず“PIANO 1”の音色が呼び出されます。

スイッチをONにした直後は、電源投入時のクリックノイズを避けるため保護回路が働き、音はでません。

## ②VOLUMEスライダー

内蔵スピーカーおよびヘッドホンの音量、リアパネルのOUTPUT端子への出力レベルをまとめて調節できます。“MAX”方向(右)へスライドさせるほど、音が大きくなります。

※OUTPUT端子にパワーアンプやアンプ内蔵スピーカーを接続して、外部スピーカーで鳴らす場合には、このスライダーを下図のようにセットしてから外部機器のボリュームを調節すると、ノイズの少ないクリアな音で演奏できます。



## ③PIANO 1キー

このキーを押すと、ソフトなピアノの音で演奏できるようになります。

## ④PIANO 2キー

このキーを押すと、明るいピアノの音で演奏できるようになります。

## ⑤E PIANOキー

このキーを押すと、エレクトリックピアノの音で演奏できるようになります。

## ⑥HARPSICHORDキー

このキーを押すと、ハープシコードの音で演奏できるようになります。

## ⑦VIBEキー

このキーを押すと、ビブラフォンの音で演奏できるようになります。

## ⑧CHORUSキー

コーラス効果をON/OFFする時に押します。キーの上にあるインジケーターが点灯した状態がONの状態です。コーラス効果は、左右のスピーカーの間を複数の音が揺れ動くような効果です。

## ⑨TRANSPOSE/MIDIキー

トランスポーズ機能の設定やMIDI関係の設定をする時に押します。

## ⑩鍵盤

88鍵(A<sub>1</sub>~C<sub>7</sub>)の鍵盤で、16音までの同時発音(16音ポリフォニック)が可能です。鍵盤を叩く強さが表現されるインシタルタッチ機能付です。

## ⑪内蔵スピーカー

16cmフルレンジスピーカーを使用しており、最大20W×2出力の能力があります。

## ⑫SPEAKER ON/OFFスイッチ

内蔵スピーカーの出力をON/OFFするためのスイッチです。通常は“ON”にしておきますが、OUTPUT端子に外部機器を接続した場合など、内蔵スピーカーの音が必要ない時は“OFF”にしてください。

## ⑬PHONES端子

ヘッドホンを接続するための端子で、内蔵スピーカーの音と同じものをモニターできます。(ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音が出なくなります。)なおステレオヘッドホンに接続すれば、コーラス効果をステレオの効果として聴くことができます。

※インピーダンス8Ω~150Ωのヘッドホンをご使用ください。

## ⑭OUTPUT端子

より大きな音を出したい場合や演奏内容をテープ等に録音する場合には、この端子を使います。パワーアンプやアンプ内蔵スピーカー、ミキサー等と接続してください。なお、この端子に直接スピーカーを接続しても音は鳴りません。この端子の規定出力レベルおよびインピーダンスは、-10dB/600Ωです。

※コーラス効果をONにして使用する場合には、ステレオの効果を得るため、LchおよびRch端子としてステレオ接続されることをお勧めします。なお、コーラス効果OFFの時は、両端子から同じ信号がモノラルで出力されます。

## ⑮LINE INPUT端子

リズムマシンやカセットデッキ、トーンジェネレーター、キーボード等の音を、本機の音といっしょに本機の内蔵スピーカーで鳴らす場合に使用します。この端子の規定入力レベルは-10dBです。

※外部機器の音量は、本機ではコントロールできません。

外部機器自身のボリュームで調節してください。

※この端子は、モノラルの入力端子です。

※PHONES端子やOUTPUT端子からも、外部機器の音が出力されます。

※OUTPUT端子—LINE INPUT端子間にカセットテープレコーダーの入力と出力を接続すると、カセットテープレコーダーの種類によってはフィードバックを起し発振することがあります。その場合、入出力のうち、必要な方だけを接続してお使いください。

## ⑩ FOOT SW端子

### ● SUSTAIN…………

付属のフットスイッチFC4をこの端子に接続すると、サステイン効果をON/OFFすることが可能になります。ペダルを踏むと効果がONになり、全ての音に余韻がつきます。ペダルを離すと効果がOFFになり、余韻がつかなくなります。

※別売のフットスイッチFC5でも、効果をON/OFFすることができます。ただし、ハーフペダル効果は得られません。

※フットスイッチを接続して操作しなければ、効果は得られません。

### ● SOFT…………

付属のフットスイッチFC4をこの端子に接続すると、ソフト効果またはキーホールド効果をON/OFFすることが可能になります。どちらの効果を使うか、自分で選択できます。(選択の方法は12ページに記載)どちらを選んだ場合もペダルを踏むと効果がONになり、離すとOFFになります。

ソフト効果：ペダルを踏むとONになり、柔らかい音で演奏できます。また、離すとOFFになり、ノーマルな音に戻ります。

キーホールド効果：鍵盤を押している間にペダルを踏むと、その鍵盤の音にだけキーホールド効果がかかり、余韻がつきます。余韻の長さは、ペダルを踏んでいる時間でコントロールでき、ペダルを離すと余韻が消えます。別の音に効果をかけようとする場合は、ペダルを一度離し、打鍵後再びペダルを踏みなおしてください。

※別売のフットスイッチFC5でも、効果をON/OFFすることができます。

※フットスイッチを接続して操作しなければ、効果は得られません。

※キーホールド効果を使い、本機の最大同時発音数である16音を全てキーホールドした場合は、ペダルを離すまで別の音はできません。また、たとえば4音をキーホールドした場合は、残り12音が同時発音数となります。

## ⑪ MIDI端子

### ● MIDI OUT…………

本機の演奏内容をデジタル信号のままMIDIシーケンサーに記録したり、シンセサイザーやトーンジェネレーターなどのMIDI機器を本機と同時に発音させる場合に使用する端子です。外部機器のMIDI IN端子と接続してください。

### ● MIDI IN…………

MIDIシーケンサーに記録した演奏内容を本機で発音させたり、外部キーボードでの演奏内容を本機で発音させる場合に使用する端子です。外部機器のMIDI OUT端子と接続してください。

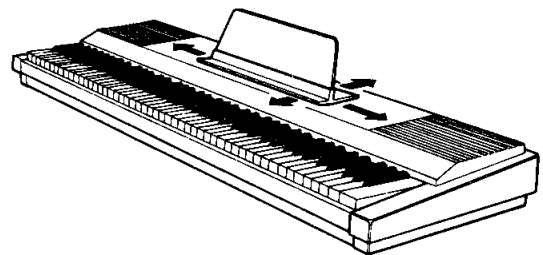
### ● MIDI THRU…………

MIDI IN端子で受けた外部MIDI機器からの信号を、そのまま出力する端子です。受信した信号と同じものをもう1台のMIDI機器に送りたい場合には、この端子とその機器のMIDI IN端子を接続してください。

※MIDI接続する場合には、別売のMIDIケーブルをご用意ください。

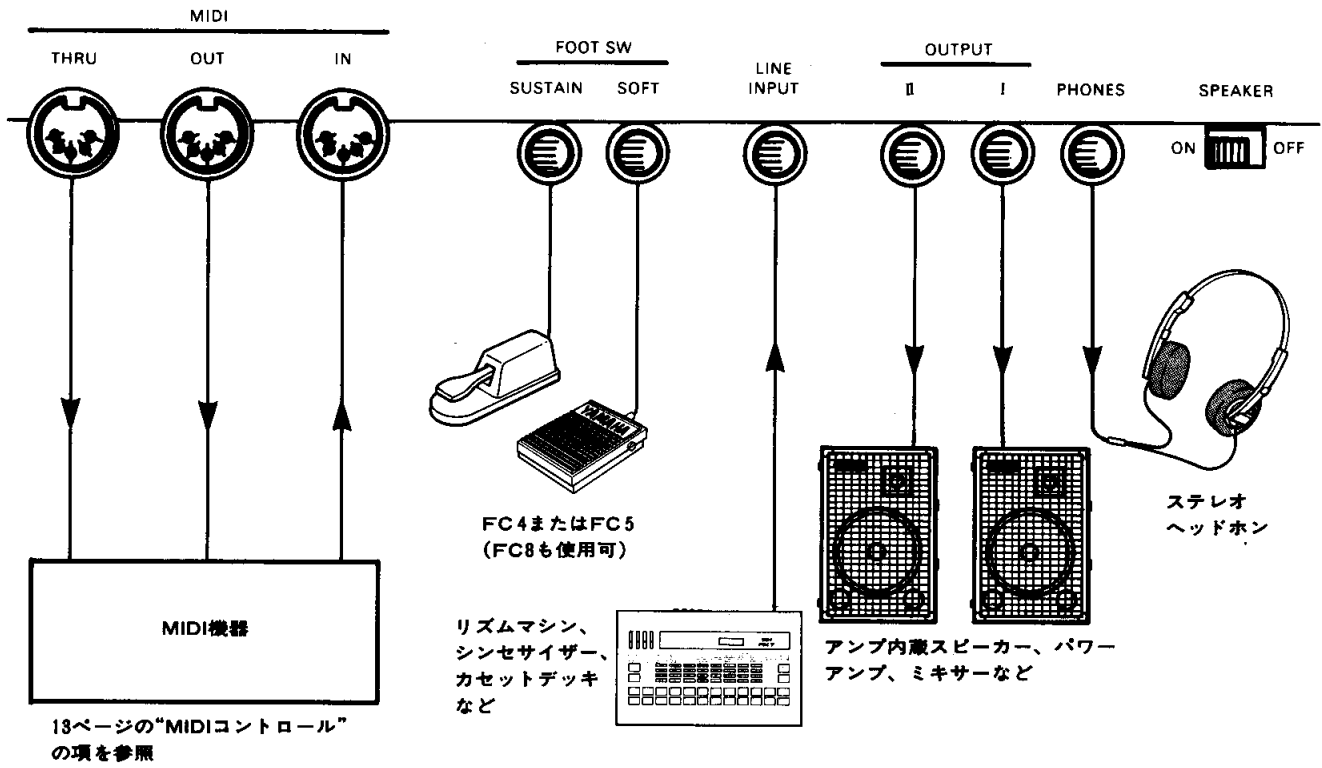
### ● 譜面立てについて

付属の譜面立ては、マグネットにより、本体パネル上面のお好きな位置に置くことができます。





# 接続

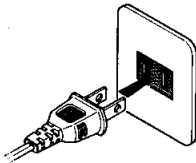


# 音を出してみよう

ここでは、音を出すまでの本機の基本的な操作手順を説明します。

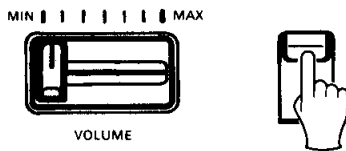
1. 本機および接続する機器のPOWERスイッチを、全てOFFにします。

2. 電源コードをコンセントに差し込みます。



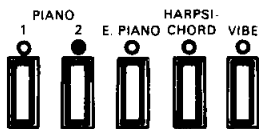
3. LINE INPUT端子に何らかの機器を接続した場合には、その機器の電源スイッチをまずONにします。

4. VOLUMEスライダーが“MIN”になっていることを確認し  
たとえば、本機のPOWERスイッチをONにします。  
すると、自動的に“PIANO 1”の音色が呼び出されます。

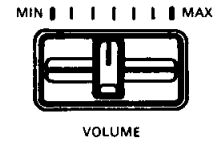


5. OUTPUT端子に何らかの機器を接続した場合には、その機器の電源スイッチをまずONにします。

6. 音色を選びます。選んだ音色キー上のインジケーターが点灯します。



7. 音量を調節します。



8. 演奏してみましょう。選択した音色で鳴ります。

9. お好みにより、コーラス効果をONまたはOFFにします。

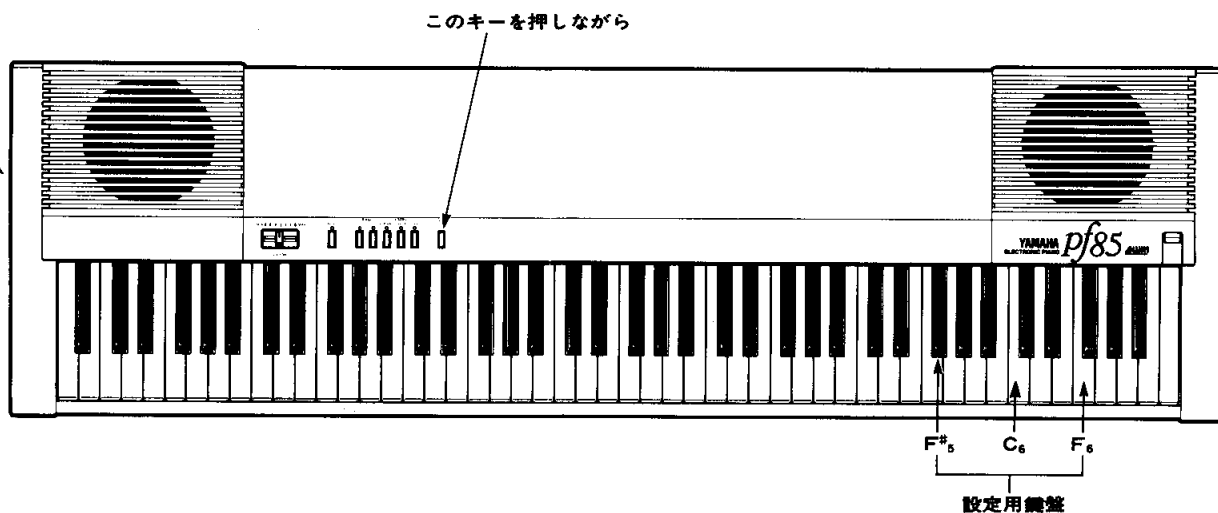


# トランスポーズ

押した鍵盤と実際に発音される音の音程をずらす機能です。この機能を使えば、弾き方を変えずに簡単に移調することができます。歌の伴奏をする時、簡単に歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。半音ステップ、1オクターブの範囲で移調できます。

## 設定方法

TRANSCOPE/MIDIキーを押しながら、F<sup>#</sup><sub>5</sub>～F<sub>6</sub>の範囲の該当する鍵盤を押します。



※移調を解除する時には、C<sub>6</sub>の鍵盤を押して移調量を“0”に戻すか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。移調が自動的に解除されます。

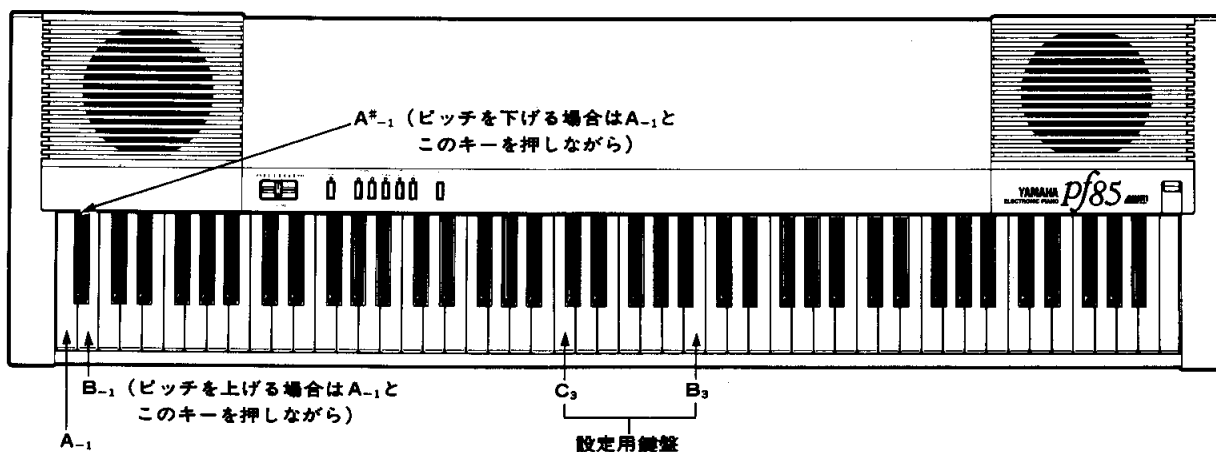
# ピッチ変更

本機を他の楽器にあわせてチューニングできます。440Hzを基準にして、約3セント(100セント=半音)ステップ、±51セントの範囲でピッチ(音程)変更できます。外部機器の音と本機の音を両方出して耳で聴いてチューニングするか、またはチューニングメーターや音叉を使用してチューニングしてください。

## 設定方法

ピッチを上げる場合：最低音側の白鍵2つ(A<sub>-1</sub>とB<sub>-1</sub>)を両方押しながら、C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかを必要回数押します。1回押すごとに、ピッチが約3セントずつ上がります。

ピッチを下げる場合：最低音側の白鍵1つ(A<sub>-1</sub>)と黒鍵1つ(A<sup>#</sup><sub>-1</sub>)を両方押しながら、C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかを必要回数押します。1回押すごとに、ピッチが約3セントずつ下がります。



※基準のピッチに戻す時には、設定値を基準値に戻すか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。基準のピッチに戻ります。

# フットコントロール

フットスイッチをリアパネルの各端子に接続することにより、各機能を足元でON/OFFできます。

なお、SOFT端子に接続したフットスイッチで、ソフト効果とキーホールド効果のどちらをコントロール(ON/OFF)するか、次の要領で指定してください。ただし、POWERスイッチをONにしてから設定を変えていなければ、必ずソフト効果をコントロールできるようになっています。

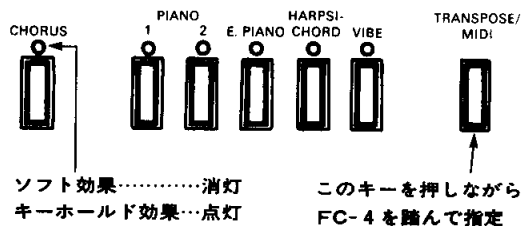
## 設定方法

ソフト効果をコントロールする場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、SOFT端子に接続したフットスイッチを踏んで、CHORUSキーの上のインジケータを消灯させる。

キーホールド効果をコントロールする場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、SOFT端子に接続したフットスイッチを踏んで、CHORUSキーの上のインジケータを点灯させる。

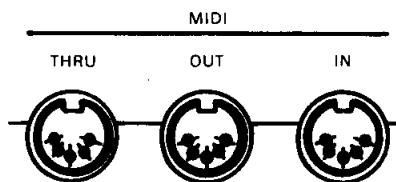


※ソフト効果をコントロールできる状態に戻す時は、設定しなおすか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。

# MIDIコントロール

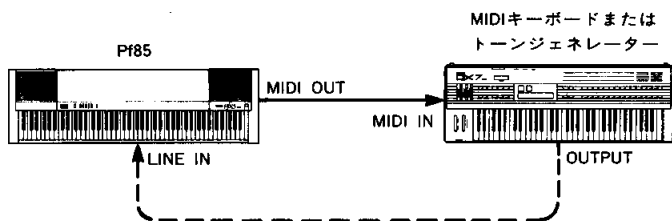
本機は、MIDI(Musical Instrument Digital Interface)規格のキーボードのため、他のMIDI機器を接続した時、様々なコントロールが可能になります。接続には15m以内のMIDIケーブルをご用意になり、本機のMIDI端子と、他のMIDIを接続してください。なお、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

— 本機のMIDI端子 —



## MIDI OUT端子を使ってできること

### ■MIDIキーボードまたはトーンジェネレーターの接続例



★本機で演奏すると、接続した機器も同時に鳴ります。音色を組み合わせることができ、音に厚みがつきます。

★本機で音色を切り替えると、接続した機器の音色も同時に切り替わります。

- PIANO 1 キーを押すと……………外部機器の音色が音色ナンバー1になる。
- PIANO 2 キーを押すと……………外部機器の音色が音色ナンバー2になる。
- E PIANOキーを押すと……………外部機器の音色が音色ナンバー3になる。
- HARPSICHORDキーを押すと…外部機器の音色が音色ナンバー4になる。
- VIBEキーを押すと……………外部機器の音色が音色ナンバー5になる。

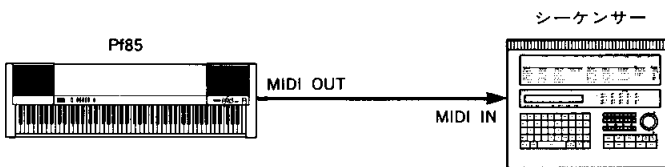
★本機でフットスイッチ操作をすると、操作結果が送信される。(外部機器側でデータを受けつけるかどうかは、その機器の仕様および設定により決まります。)

### あらかじめ必要な操作

- 本機のMIDI送信チャンネルと、外部機器のMIDI受信チャンネルを一致させるか、または外部機器をオムニONの状態にします。(P.15参照)
- 音色切替を連動させる場合には、プログラムチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)

- フットスイッチによるON/OFF 操作を連動させる場合には、コントロールチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)

### ■シーケンサーの接続例



★本機の演奏内容を、デジタル信号のままシーケンサーに記録できます。演奏の時にミスしても、その部分だけを修正することも可能です。そしてシーケンサーの再生の時、演奏時と異なった音色で鳴らすこともできます。

★音色を切り替えると、プログラムチェンジナンバー1～5が出力されます。(ただし、シーケンサーに記録されるかどうかは、シーケンサーの仕様および設定により決まります。)

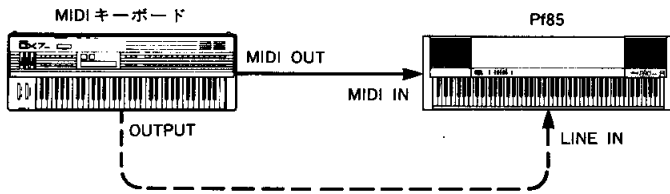
★本機でフットスイッチ操作をすると、操作結果が送信される。(外部機器側でデータを受けつけるかどうかは、その機器の仕様および設定により決まります。)

### あらかじめ必要な操作

- 本機のMIDI送信チャンネルと、外部機器のMIDI受信チャンネルを一致させます。(P.15参照)
- 音色切替のメッセージも記録させる場合には、本機のプログラムチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)
- 各フットスイッチのON/OFF のメッセージも記録させる場合には、本機のコントロールチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)

## MIDI IN端子を使ってできること

### ■MIDIキーボードとの接続例

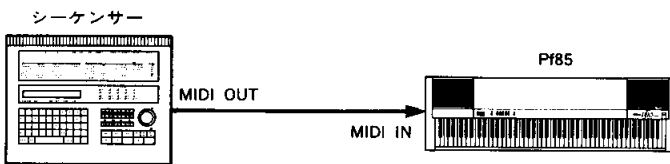


- ★外部キーボードを演奏すると、本機も同時に鳴ります。
- ★外部キーボードの音色を音色ナンバー1～5の範囲で切り替えた場合、本機の音色も同時に切り替わります。
  - 外部機器を音色ナンバー1にすると……  
PIANO 1の音色になる。
  - 外部機器を音色ナンバー5にすると……  
VIBEの音色になる。
- ★外部キーボードで本機と同内容のフットスイッチの操作をすると、本機のフットスイッチの設定が対応します。

### あらかじめ必要な操作

- 外部キーボードのMIDI送信チャンネルと、本機のMIDI受信チャンネルを一致させるか、または本機をオムニONの状態にします。(P.15, P.16参照)
- 音色切替を連動させる場合には、プログラムチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)
- フットスイッチのON/OFF操作を連動させる場合には、コントロールチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)

### ■シーケンサーとの接続例



- ★シーケンサーに記録済みの演奏データを、本機の音色で再生できます。
- ★シーケンサーから音色ナンバー1～5のメッセージが送られてくると、本機の音色が切り替わります。
  - 音色ナンバー1が送られてくると……  
PIANO 1の音色になる。
  - 音色ナンバー5が送られてくると……  
VIBEの音色になる。

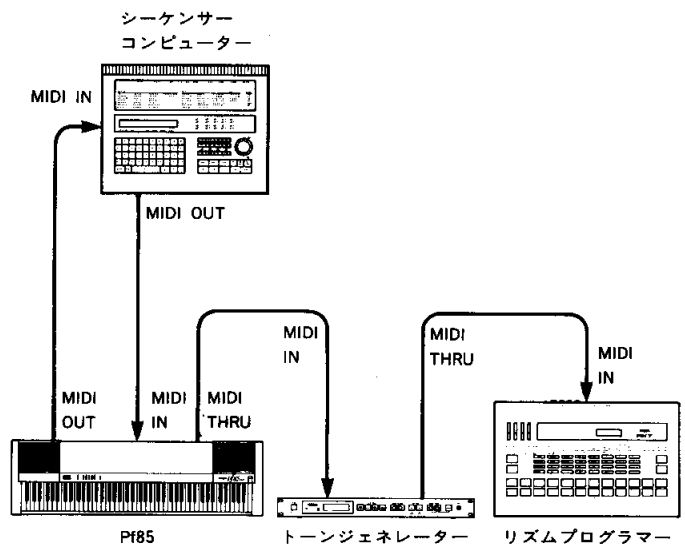
- ★シーケンサーから本機と同内容のフットスイッチのメッセージが送られてくると、本機のフットスイッチの設定が対応します。

### あらかじめ必要な操作

- シーケンサーのMIDI送信チャンネルと、本機のMIDI受信チャンネルを一致させるか、または本機をオムニONの状態にします。(P.15, P.16参照)
- 音色切替のメッセージも受け付ける場合には、プログラムチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)
- 各フットスイッチのON/OFFのメッセージも受け付ける場合には、コントロールチェンジキャンセルの設定をOFFの状態にしておきます。(P.17参照)

## MIDI THRU端子を使ってできること

MIDI THRU端子からは、本機のMIDI IN端子で受けた信号がそのまま出力されます。MIDI THRU端子は、次のようなシステム接続をする場合に便利です。



本システムは、シーケンサーを再生させて本機およびトーンジェネレーターを鳴らし、リズムプログラマーのドラム音を同期させるものです。

## MIDI送信チャンネル、受信チャンネルの設定

MIDI送信チャンネルおよび受信チャンネルは、次の要領で1チャンネル～16チャンネルの範囲で自由に設定できます。

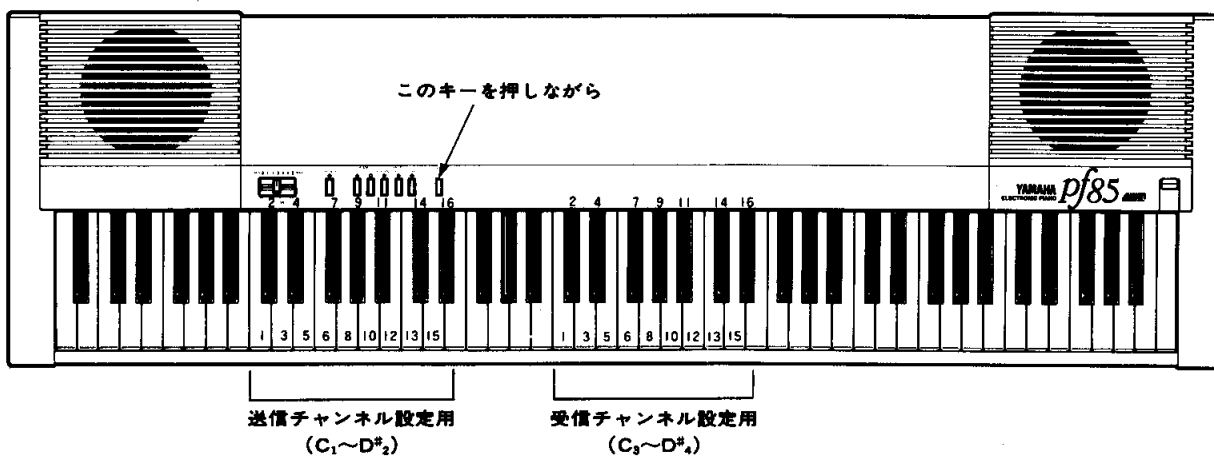
### 設定方法

MIDI送信チャンネルの設定：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、C<sub>1</sub>～D<sup>#</sup><sub>2</sub>の範囲の該当する鍵盤を押します。

MIDI受信チャンネルの設定：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、C<sub>3</sub>～D<sup>#</sup><sub>4</sub>の範囲の該当する鍵盤を押します。



※チャンネル1の状態にもどす時は、設定しなおすか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。

POWERスイッチをONにするたび、送信チャンネル、受信チャンネル共に設定が1チャンネルに戻ります。



## オムニON/OFFの切り替え

オムニON/OFFの切り替えは、次の要領で行えます。なお、オムニONを指定するとMIDI受信チャンネルを無視して、どのチャンネルのメッセージでも受信するようになります。

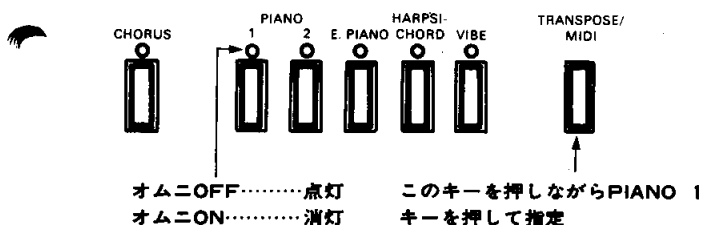
### 設定方法

オムニOFFを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、PIANO 1キーを押して、PIANO 1キー上のインジケータを点灯させる。

オムニONを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、PIANO 1キーを押して、PIANO 1キー上のインジケータを消灯させる。



※オムニONの状態にもどす時は、設定しなおすか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。

POWERスイッチをONにするたび、設定がオムニONに戻ります。

## ローカルコントロールON/OFFの切り替え

ローカルコントロールON/OFFの切り替えは、次の要領で行えます。また、ローカルコントロールOFFを指定すると本機の音源部が鍵盤部と切り離され、本機の音源では発音されなくなります。この機能は、本機の発音機能を停止させ、本機での演奏内容を外部キーボードやトーンジェネレーター側だけで発音させる場合に便利です。

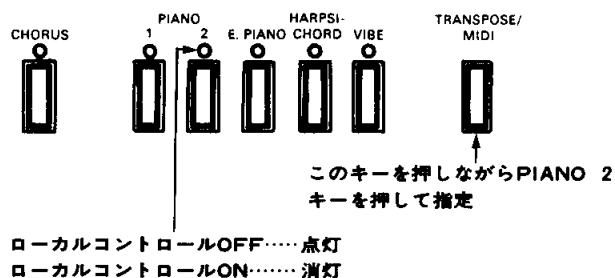
### 設定方法

ローカルコントロールOFFを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、PIANO 2キーを押して、PIANO 2キーのインジケータを点灯させる。

ローカルコントロールONを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、PIANO 2キーを押して、PIANO 2キー上のインジケータを消灯させる。



※ローカルコントロールONの状態にもどす時は、設定しなおすか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。

POWERスイッチをONにするたび、設定がローカルコントロールONに戻ります。

※ローカルコントロールOFFを指定しても、外部MIDI機器からのメッセージは受信し、普通どおり発音します。

## プログラムチェンジキャンセルON/OFFの切り替え

プログラムチェンジキャンセルON/OFFの切り替えは、次の要領で行えます。なお、プログラムチェンジキャンセルONを指定すると、音色切り替えを外部MIDI機器と連動させることが、送信、受信共にできなくなります。この機能は、音色切り替えをあえて連動させなくするための機能です。

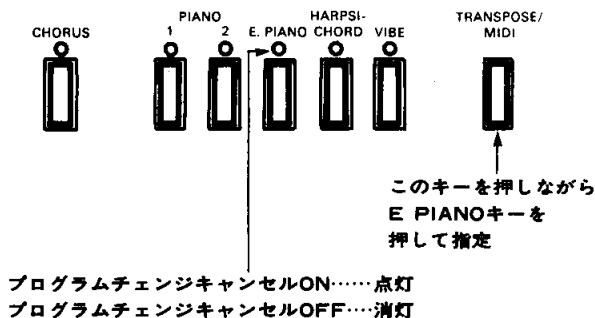
### 設定方法

プログラムチェンジキャンセルONを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、E PIANOキーを押して、E PIANOキー上のインジケータを点灯させる。

プログラムチェンジキャンセルOFFを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、E PIANOキーを押して、E PIANOキー上のインジケータを消灯させる。



※プログラムチェンジキャンセルOFFの状態にもどす時は、設定しなおすか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。  
POWERスイッチをONにするたび、設定がプログラムチェンジキャンセルOFFに戻ります。

## コントロールチェンジキャンセルON/OFFの切り替え

コントロールチェンジキャンセルON/OFFの切り替えは、次の要領で行えます。なお、コントロールチェンジキャンセルONを指定すると、フットスイッチ操作を外部MIDI機器と連動させることが、送信、受信共にできなくなります。この機能は、フットスイッチによる各効果のON/OFFをあえて連動させるための機能です。

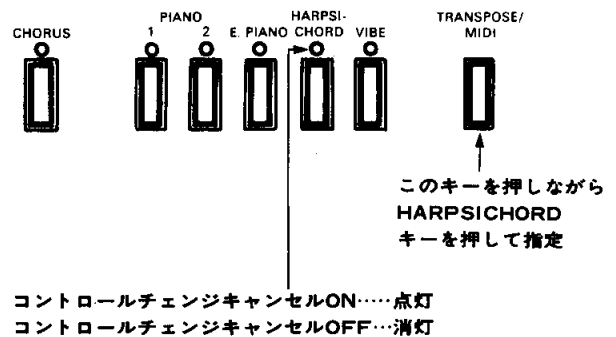
### 設定方法

コントロールチェンジキャンセルONを指定する場合：

TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、HARPSICHORDキーを押して、HARPSICHORDキー上のインジケータを点灯させる。

コントロールチェンジキャンセルOFFを指定する場合：

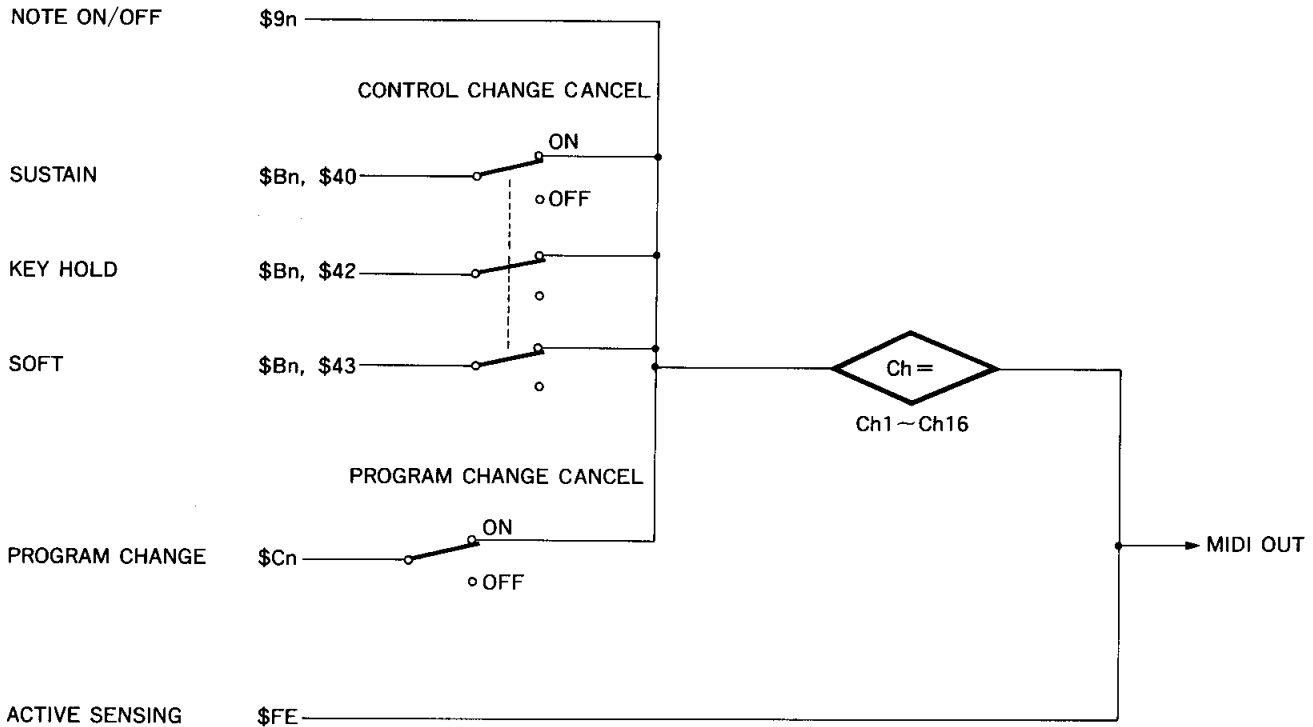
TRANSPOSE/MIDIキーを押しながら、HARPSICHORDキーを押して、HARPSICHORDキー上のインジケータを消灯させる。



※コントロールチェンジキャンセルOFFの状態にもどす時は、設定しなおすか、またはPOWERスイッチを一度OFFにしてから、ONしなおしてください。  
POWERスイッチをONにするたび、設定がコントロールチェンジキャンセルOFFに戻ります。

# MIDIデータフォーマット

## 1. 送信条件



## 2. 送信データ

アクティブセンシング以外のメッセージは、設定したMIDI送信チャンネルで送信可能です。  
 なおMIDI THRU端子からは、端子からは、受信したメッセージがそのまま送り出されます。

### 2-1 チャンネルインフォメーション

#### 1) チャンネルボイスメッセージ

##### ① キーオン/オフ

鍵盤を押した時と離れた時に送信します。

ステータス  $1001nnnn(9nH)$   $n=0$  (チャンネルナンバー1)~15(チャンネルナンバー16)

ノートNo.  $0kkkkkkkk$   $k=21(A-1)~108(C7)$   
 ベロシティ  $0vvvvvvvv$   $v=0~127$   
 (1~127: キーオン,  
 0: キーオフ)

##### ② コントロールチェンジ

フットスイッチを踏んだ時と離れた時に送信します。3種類のメッセージを送信可能です。ただし、コントロールチェンジキャンセルがOFF状態であることが条件です。  
 ステータス  $1011nnnn(BnH)$   $n=0$  (チャンネルナンバー1)~15(チャンネルナンバー16)

コントロールNo.  $0ccccccc$   
 コントロール値  $0vvvvvvvv$

コントロールNo.	コントロール値
$c=64$ SUSTAIN	$v=0$ (OFF), 127 (ON)
$c=66$ KEY HOLD	$v=0$ (OFF), 127 (ON)
$c=67$ SOFT	$v=0$ (OFF), 127 (ON)

### ③プログラムチェンジ

音色を切り替えた時、またはプログラムチェンジダンプリクエストを受信した時に送信します。ただし、プログラムチェンジキャンセルがOFF状態であることが条件です。

ステータス 1100nnnn(CnH) n=0 (チャンネルナンバー1)~15(チャンネルナンバー16)

プログラムNo. 0ppppppp p=0(PIANO1),  
1(PIANO2),  
2(EPIANO),  
3(HARPSICHORD),  
4(VIBE)

### 2-2 システムインフォメーション

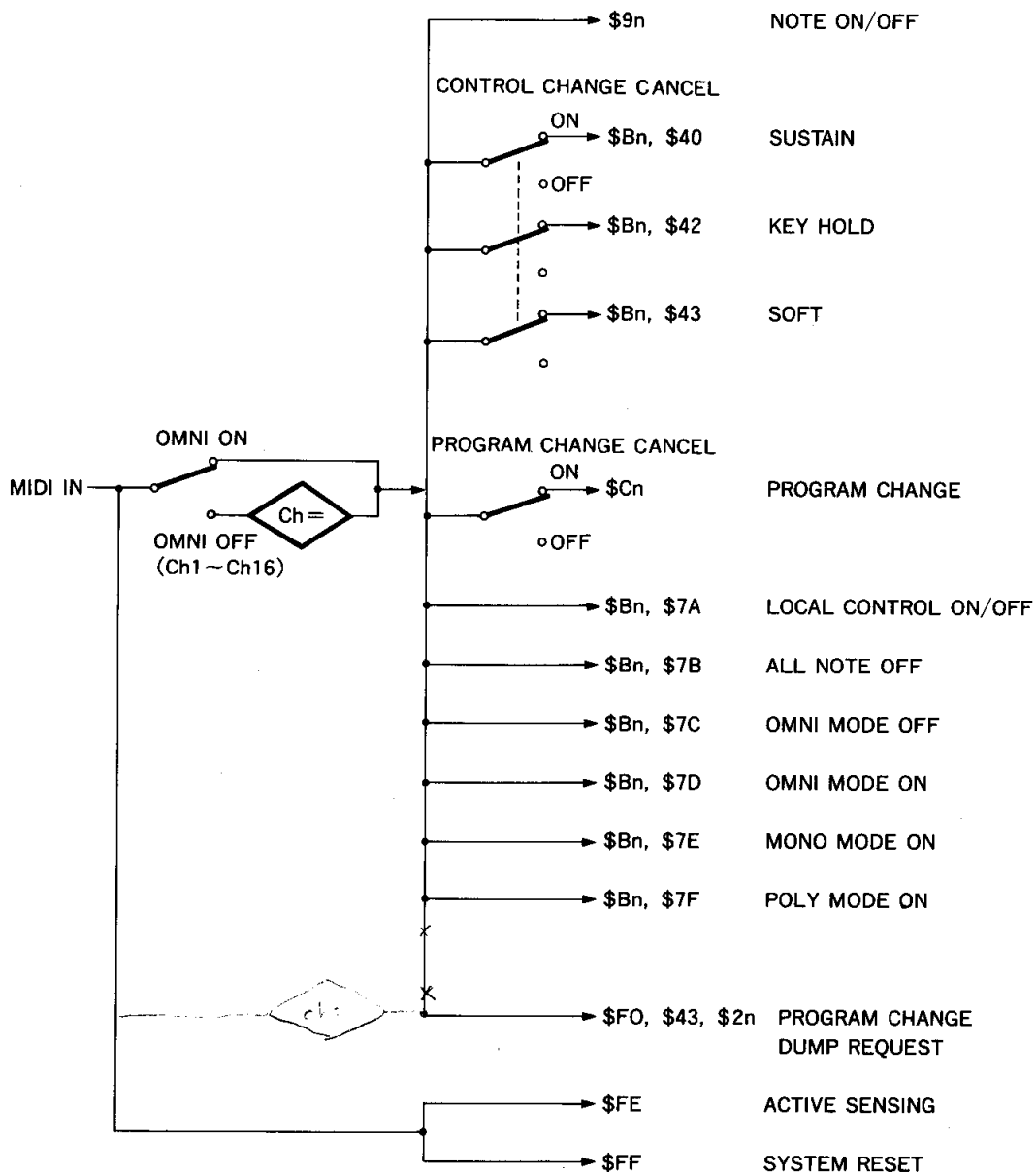
#### 1) システムリアルタイムメッセージ

##### ①アクティブセンシング

約200msecに1回送信します。

ステータス 1111110(FEH)

### 3. 受信条件



## 4. 受信データ

アクティブセンシングおよびシステムリセット以外のメッセージは、設定したMIDI受信チャンネルで受信可能です。なおMIDI THRU端子からは、受信したメッセージがそのまま送り出されます。

### 4-1 チャンネルインフォメーション

#### 1) チャンネルボイスメッセージ

##### ①キーオン/オフ

ノートNo.によって発音の音程が変わり、ベロシティによって発音の音量および音色が変わります。

ステータス 1 0 0 1 n n n n (9 n H) n = 0 (チャンネルナンバー-1) ~ 15 (チャンネルナンバー-16)

ノートNo. 0 k k k k k k k k k k = 21 (A-1) ~ 108 (C7)  
ベロシティ 0 v v v v v v v v v v = 0 ~ 127  
(1 ~ 127: キーオン  
0: キーオフ)

##### ②コントロールチェンジ

3種類のメッセージを受信可能です。ただし、コントロールチェンジキャンセルがOFF状態であることが条件です。

ステータス 1 0 1 1 n n n n (B n H) n = 0 (チャンネルナンバー-1) ~ 15 (チャンネルナンバー-16)

コントロールNo. 0 c c c c c c c c  
コントロール値 0 v v v v v v v v

コントロールNo.	コントロール値
c = 64 SUSTAIN	v = 0 (OFF), 127 (ON)
c = 66 KEY HOLD	v = 0 (OFF), 127 (ON)
c = 67 SOFT PEDAL	v = 0 (OFF), 127 (ON)

##### ③プログラムチェンジ

プログラムNo.によって音色が決まります。

ステータス 1 1 0 0 n n n n (C n H) n = 0 (チャンネルナンバー-1) ~ 15 (チャンネルナンバー-16)

プログラムNo. 0 p p p p p p p p p p = 0 (PIANO 1),  
1 (PIANO 2),  
2 (E PIANO),  
3 (HARPSICHORD),  
4 (VIBE),  
5 ~ 127 (無視)

#### 2) チャンネルモードメッセージ

ステータス 1 0 1 1 n n n n (B n H) n = 0 (チャンネルナンバー-1) ~ 15 (チャンネルナンバー-16)

コントロールNo. 0 c c c c c c c c  
コントロール値 0 v v v v v v v v

コントロールNo.	コントロール値
c = 122 LOCAL CONTROL ON/OFF (受信すると、ローカルコントロールの設定がONまたはOFFになります。)	V = 0 (OFF), 127 (ON)
c = 123 ALL NOTE OFF (受信すると、全ての鍵盤が離されたのみなします。)	V = 0
c = 124 OMNI OFF (受信するとオムニオフになります。)	V = 0
c = 125 OMNI ON (受信するとオムニオンになります。)	V = 0
c = 126 MONO MODE ON (受信するとモノモード=単音でのみ演奏できるモードになります。)	V = 0
c = 127 POLY MODE ON (受信するとポリモード=複音で演奏できるモードになります。)	V = 0

### 4-2 システムインフォメーション

#### 1) システムリアルタイムメッセージ

##### ①アクティブセンシング

受信すると、センシングを開始します。その後400msec以上の間ステータスもデータもこない時には、MIDI受信バッファをクリアし、発音を強制的に停止させます。

ステータス 1 1 1 1 1 1 1 0 (F E H)

##### ②システムリセット

受信すると、MIDI関係の設定が初期化されると共に、ALL NOTE OFF処理します。

ステータス 1 1 1 1 1 1 1 1 (F E H)

——初期化の内容——

OMNI	ON
LOCAL	ON
PROGRAM CHANGE CANCEL	OFF
CONTROL CHANGE CANCEL	OFF

#### 2) システムエクスクルーシブメッセージ

##### ①プログラムチェンジダンプリクエスト

受信すると、MIDI OUT端子からプログラムチェンジメッセージをバルクアウトします。

ステータス 1 1 1 1 0 0 0 0 (F 0 H) システムエクスクルーシブ

ID No. 0 1 0 0 0 0 1 1 (4 3 H) YAMAHA

サブステータス 0 0 1 0 n n n n (2 n H) n = 0 (チャンネルナンバー-1) ~ 15 (チャンネルナンバー-16)

フォーマットNo. 0 1 1 1 1 1 0 0 (7 C H) ユニバーサルバルクダンプリクエスト

EOX 1 1 1 1 0 1 1 1 (F 7 H)

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default	1	1	
Channel Changed	1 - 16	1 - 16	
Mode Default	3	1	
Messages	x	Omni, Mono/Poly	
Altered	*****	x	
Note Number : True voice	21 - 108 *****	21 - 108 21 - 108	
Velocity Note ON	o 90H, v=1-127	o v=1-127	
Note OFF	x 90H, v=0	x	
After Touch	Key's Ch's	x x	
Pitch Bender	x	x	
Control Change	64 : o 66 : o 67 : o	o o o	Sustain Key hold Soft pedal
Prog Change : True #	o 0 - 4 *****	o 0 - 127 0 - 4	
System Exclusive	x	o	
System : Song Pos	x	x	
: Song Sel	x	x	
Common : Tune	x	x	
System : Clock	x	x	
Real Time : Commands	x	x	
Aux : Local ON/OFF	x	o	
: All Notes OFF	x	o (122-127)	
Mes- : Active Sense	o	o	
sages: Reset	x	o	
Notes			

Mode 1 : OMNI ON, POLY      Mode 2 : OMNI ON, MONO      o : Yes  
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY    Mode 4 : OMNI OFF, MONO      x : No

# 初期値について

POWERスイッチをONにするたびに、各設定値は次のように初期化されます。

トランスポーズ	0
ピッチ (A <sub>3</sub> )	440Hz±0
ソフト/キーホールド	ソフト
送信チャンネル	1
受信チャンネル	1
オムニON/OFF	ON
ローカルコントロールON/OFF	ON
プログラムチェンジ キャンセル	OFF
コントロールチェンジ キャンセル	OFF
ポリフォニック/モノフォニック	ポリフォニック
コーラス	OFF
音色	PIANO 1

# blankチャート

メモ用にお使いください。

トランスポーズ	
ピッチ (A <sub>3</sub> )	
ソフト/キーホールド	
送信チャンネル	
受信チャンネル	
オムニオンON/OFF	
ローカルコントロールON/OFF	
プログラムチェンジ キャンセル	
コントロールチェンジ キャンセル	
ポリフォニック/モノフォニック	
コーラス	

# オプション(別売)

## ●専用スタンド

パイプスタンド : LG-Pf60 ¥20,000



木製スタンド : LG-Pf80 ¥15,000



## ●フットスイッチ

FC4 (付属品として1台同梱しています) ¥3,000



FC5 ¥1,500



## ●その他

キーボードチェア : KCH-1 ¥5,000

キーボードカバー : KC-Pf60 ¥1,200

MIDIケーブル : MIDI01 ¥800

MIDIケーブル : MIDI03 ¥1,100



# サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で  
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません)  
また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お  
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。  
無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意  
ください。

## ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに  
ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束  
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期  
間中であっても実費を頂戴させていただくことになり  
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ  
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま  
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ  
さい。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サー  
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に  
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ  
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に  
はサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買上げ  
店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あ  
るいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先に  
おけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、  
引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよ  
う手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな  
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。  
なお、補修用性能部品の保有期間は最低  
8年となっています。そのほかご不明の点などござ  
いましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせ  
ください。

## ■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点 (お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184  
TEL (044) 434-3100  
新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーホールビル2F)  
TEL (025) 243-4321  
大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)  
TEL (06) 877-5282  
四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松店內)  
TEL (0878) 51-7777, 22-3045  
名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
(ヤマハ名古屋流通センター3F)  
TEL (052) 652-2230  
九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2134  
北海道電音サービスセンター 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地  
TEL (011) 781-3621  
仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター3F)  
TEL (022) 236-0249  
広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2-27-39  
TEL (082) 874-3787  
浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911  
TEL (0534) 65-6711

本社  
電音サービス部 〒435 浜松市上西町911  
TEL (0534) 65-5195

\*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

## ヤマハ株式会社 LM事業本部

デジタル総務課 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL (0534) 60) 2441  
国内営業部 〒150 渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル3F  
TEL (03) 476) 1521  
東京事業所 〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル  
TEL (03) 574) 8592  
大阪事業所 〒542 大阪市南区南船場3-12-9  
心斎橋プラザビル東館  
TEL (06) 252) 5231  
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL (052) 201) 5145  
九州営業所 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472) 2155  
札幌営業所 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター  
TEL (011) 512) 6113  
仙台営業所 〒980 仙台市大町2-2-10  
TEL (022) 222) 6146  
広島営業所 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL (082) 244) 3744

**YAMAHA**